



サーカス

渡辺真知子

昭和100年記念
長野市芸術館
昭和歌謡祭

松崎しげる

2025 11/22 日

17:00開演 (16:15開場)

長野市芸術館メインホール

昭和の時代、
家族そろって楽しみに見ていた
『音楽番組、音楽祭、音楽賞』の
豪華なサウンドと
歌手の顔ぶれを
令和に再現する音楽祭。
フルバンド(ビッグバンド)をバックに
日本を代表する実力派歌手が、
本気で歌うスペシャルコンサート。

由紀さおり

宮間利之ニューハード

前売券 8,800円 / 当日券 9,300円 [全席指定・税込]

チケット発売 2025年7月20日(日) 10:00~

長野市芸術館チケットオンライン[インターネット予約] <https://www.nagano-arts.or.jp/>
長野市芸術館チケットセンター[窓口・電話] TEL.026-219-3191 [10:00~19:00/火曜定休]
ローンチケット: <https://l-tike.com/> Lコード 72353
e+(イープラス): <https://eplus.jp> チケットぴあ: <http://t.pia.jp> Pコード 294-206



チケットオンライン

●出演者・その他に変更が生じる場合がございます。●不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、券種の変更、他公演との交換はいたしません。●未就学児のご入場はご遠慮いただきます。●車椅子席をご希望の方は、長野市芸術館チケットセンター (TEL: 026-219-3191 / 10:00~19:00火曜定休)へお問い合わせください。●駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

企画監修

富澤一誠 (音楽評論家)





由紀さおり

Saori Yuki

1969年「夜明けのスカット」でデビュー。1983年 映画「家族ゲーム」で、毎日映画コンクールの女優助演賞受賞。2011年アメリカのジャズオーケストラPink Martiniとアルバム「1969」をリリース。世界的なヒットとなる。2012年 紫綬褒章受賞。2019年 旭日小綬章受賞。2019年、由紀さおり特別公演「夢の花-鶯代という女-」を上演。2024年3月「夜明けのスカット」でデビューし55周年を迎え、記念コンサートツアー「由紀さおり 55th コンサート ～新しいわたし～」を開催。三味線の弾き唄いにも挑戦。1986年にスタートした姉、安田祥子との童謡コンサートは39年目を迎える。2025年4月より「由紀さおりコンサート2025」を各地で開催。



松崎しげる

Shigeru Matsuzaki

1970年ソロデビュー。1977年「愛のメモリー」で日本レコード大賞歌唱賞受賞。国内外、数々の音楽祭で受賞の実績を持つ実力派であり、年間数多くのステージをこなす「ディナーショーキング」の異名を持つエンターテイナーである。2015年に松崎の色黒が評価され日本記念日協会から9月6日(クロ)が松崎しげるの日として認定され、2015～2023年まで9年連続で9月6日に松崎主催Fes「黒フェス」白黒歌合戦」を開催し、ももいろクローバーZなど様々なアーティストが出演し、大成功を取っている。2024年12月31日には自身2回目となるNHK「紅白歌合戦」に出場。75歳を超えてますます精力的に活動している。



渡辺真知子

Machiko Watanabe

1977年「迷い道」でデビュー。日本のポップス・シーンに残る数々のヒット曲を送り出し、印象的な歌詞と心に残るメロディ、そして深いエモーションをたたえた抜群の歌唱力で一躍人気アーティストの仲間入りを果たす。日本レコード大賞最優秀新人賞、他音楽祭13賞受賞。デビューの頃よりコンサート活動を精力的に続けており、その内容はオリジナルを中心にポップス・ジャズ・ラテン・クラシックなどさまざまなジャンルをボーダレスに展開。国内はもとより、海外でもそのパフォーマンスに賞賛が寄せられる。ジャンルにとらわれない幅の広さ、歌い続けてきた大人ならではの表現力で、今「歌うオンリーワンのアーティストである。2022年にデビュー45周年を迎え、シングルCD「二隻の舟/カナリア」や記念コンサートのライブアルバムをソニー・ミュージックレーベルズよりリリース。



サーカス

CIRCUS

1978年「ミスター・サマータイム」が大ヒット。音楽界に颯爽とデビュー。NHK紅白歌合戦をはじめ多くの音楽番組にも出演。また「We Love Harmony!」を合言葉に全国各地でのコンサートツアーを開催。万博など様々なビッグイベントにも出演。35周年を迎えた2013年メンバーチェンジを行い、ソロシンガーとして活動していた吉村勇一と、サーカスメンバー叶高の娘である、叶あきさが加入。親子世代となったサーカスは2023年、デビュー45周年を迎え世代もジャンルも超え未来へとそのハーモニーを繋いでゆく。



宮間利之 ニューハード

Toshiyuki Miyama NEWHERD

創立者の宮間利之(2016年5月24日没)は、1950年現在のニューハードの母体となる「ジャイブ・エース」を結成し米軍クラブ等に進出する。58年、子羊の群=「宮間利之とニューハード」と改称、コンサート・ラジオ・テレビ・レコード界へと幅広く活躍し、70年代に入り、日本のビッグバンド黄金期に、原信夫とシャープス&フラッツと日本のトップバンドの人気の座を二分した。サウンド指向は、創設以来一貫してモダン・ジャズを守りながらも時代の変化とともに、コンテンポラリー・ジャズにも意欲的に挑戦し続け、74年モンテレー・ジャズ祭に出演し日本のジャズミュージシャンとして初めての最高の栄誉賞を受賞。また75年ニポートジャズ祭、2000年JVCジャズ祭(平成12年度文化庁芸術祭優秀賞受賞)等、海外の著名なジャズ・フェスティバルに数多く出演し国際的にも高い評価を得る。一方、安定した演奏力には定評があり、昭和の数々の歌番組のレギュラーバンドを長年務めてきた。現在も若手実力派ミュージシャンが難関を経て入団し、新鋭人との連携も図られ、歴史と格式を感じさせるサウンドは次世代へと継承されている。宮間利之没後、『宮間利之ニューハード』と改名、コンサートマスター川村裕司(テナーサクソ)を中心に、意欲的な活動を展開している。オフィシャルWebサイト:<https://newherd.jp>

出演した主なテレビ番組

【NHK】●紅白歌合戦●歌謡プロムナード●夢で逢いましょう●若い民謡●あなたのメロディー●ミュージックフェスティバル●ときめき夢サウンド【日本テレビ】●シャボン玉ホリデー●光子の窓●プラチナゴールデンショー●紅白歌のベストテン【TBSテレビ】●ザ・ベストテン●歌のグランプリ●バンドポップショー●ヤマハヤングジャンボリー●サウンドインエス●チエミ大いに唄う【フジテレビ】●ミュージックフェア●ヒットキットショー●今週のヒット速報●平凡バーステーション【テレビ朝日】●アフタヌーンショー



企画監修 富澤一誠

Issei Tomisawa

長野県須坂市生まれ。1970年、東京大学文Ⅲに入学。71年、在学中に音楽雑誌への投稿を機に音楽評論活動を開始し、Jポップ専門の評論家として53年のキャリアを持つ。日本レコード大賞審査委員長や日本作詩大賞審査委員長など要職を歴任。現在は尚美学園大学名誉教授。またラジオ・パーソナリティー、テレビ・コメンテーターとしても活躍中。「昭和ニューミュージック」の1980年代」を始めとして著書多数。21年7月、活動50周年を記念したCDブック「富澤一誠 私の青春四小節～音楽を熱く語る!」を発表。

